

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 804 号	氏名	高橋 法子
学位審査委員	主 査	前田 隆浩	
	副 査	青柳 潔	
	副 査	高村 昇	
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、熱中症に対し最も脆弱である高齢者に対して予防介入を行うことにより、熱中症に対する予防行動や知識が改善するか否かを検証しようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 長崎県五島市の行政区をもとに福江島を3地域に区画分類し、65歳から84歳までの高齢者を各地域より508人ずつ無作為に抽出した。この3地域を熱中症予防情報配信群（HHW群）、熱中症予防情報配信およびペットボトル水の配送群（HHW+W群）、コントロール群に振り分け、抽出した合計1,524人を対象として予防介入研究を実施した。そして、ロジスティック回帰分析およびマン・ホイットニーのU検定を用いて介入前後の熱中症予防行動と知識の改善効果を解析しており、研究手法は妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、熱中症に関する知識の改善効果は認めなかったものの、介入群（HHW群、HHW+W群）で熱中症予防行動に有意な改善効果が認められた。熱中症予防情報の配信とペットボトル水の宅配によって高齢者の熱中症に対する予防意識を高める可能性が示唆され、今後、熱中症の発症予防に向けた研究への進展が大いに期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は熱中症予防研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			